



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

96.12.25 No. 4522

## 佐倉支部定期大会開催(12/19)

# 佐倉の基地の死守を

佐倉支部第十七回定期大会は、十二月十九日十七時半より佐倉機関区講習室において組合員二十名、千葉本部三役の出席のもとに開催され、九七・三ダイ改での佐倉機関区廃止攻撃と闘いぬくことを確認した。

大会は笠井副支部長による「佐倉機関区の廃止が言われているが、本大会で活発な議論をお願いしたい。疑問はどんどん出してほしい」というあいさつで始まった。議長に能勢さんを選出し、「団結して真剣な討論を」とのあいさつのち、宮内支部長は「たいへんな時をむかえている、分割・民営化の矛盾は貨物に集中し、格差は拡大している。貨物の赤字は構造的なものである、誰がやってもうまくいかない。貨物会社は十一月に新フレイト21を提案し、六千人体制にするといっているが、これで問題はなくならない。身を粉にして闘いぬく」と力強いあいさつを行なった。

つづいて来賓の布施副委員長より、貨物会社をめぐる情勢と九七・三ダイ改での佐倉・新小岩の統廃合・千葉機関区設置の動きなどが出され、「明日関東支社の提案があるが、今日はいろいろな意見が出てほしい」とあいさつをうけた。

○東日本のDL4両の受委託が解消になると、貨物のDLの

仕業・交換はどこでやるのか  
三月に移行できるのか  
○三月は現実に無理ではないのか  
○検修・事務はどうなるのか  
○旧千葉局内に仕事の確保を、佐倉に基地を確保を

○京葉線移行は三月にはできない、蘇我に基地はできるが、それが佐倉の廃止につながるのか、そこまでやらざるを得ないのか

○京葉臨海に受け入れはあるのか、出向はイヤだ  
○乗務員の受委託解消は三月にやれるのか

これに対し、本部中野委員長布施副委員長より、一問一答形式で本部の見解が述べられ、佐倉の基地の死守、佐倉・新小岩の団結で皆の叡知を集め、旅客の組合員も含めて全員で闘っていくことが確認された。役員を選出し、最後に宮内支部長の団結カンパロで大会は終了した。

新たに選出された役員体制

支部長	宮内正志	運転士
副支部長	笠井清	〃
書記長	田中龍美	車技係
執行委員	石川稔	運転士
会計監査	根本英治 梶ヶ谷正	車技主 運転士

## 貨物関東支社3月ダイ改提案

# 佐倉機関区廃止許すな

### 蘇我に千葉機関区

十二月二十日貨物関東支社は、九七・三ダイ改の提案を行い、佐倉機関区の廃止、新小岩機関区・佐倉機関区を統合し蘇我に「千葉機関区」を設置、新小岩機関区は「千葉機関区新小岩派出」とすることを明らかにした(要員体制は別表)。われわれはこの佐倉機関区廃止提案を怒りをもって弾劾する。

京葉線移行はメドがたらず、新小岩基盤整備も来年八月にズレこむなかで、今次ダイ改で基地統廃合を行なうのは貨物会社が先月明らかにした新フレイト21・貨物六千人体制の先取りに他ならない。「管理者が不足して千葉に三区は維持できない」といつつ、東日本との受委託の解消やDLや貨車の交番検査の京葉臨海への業務委託など検修部門の合理化、乗務員の大幅な転勤送配など断じて許せるものではない。貨物六千人体制粉砕へ、佐倉機関区死守、三月ダイ改阻止へ、全力で闘いに立ちあがろう。

別表  
千葉機関区  
要員体制

区	計	運転士							検修			計				
		区長	助役	計	指	内	計	本	計	交換	仕業		技管			
現																
新小岩機関区	92	1	6	7	3	2	3	2	47	54	FC 9	DL 6	FC 6	FC 2	5	28
蘇我派出	3								3							
佐倉機関区	29	1	3	4	2	1	3		10	14	DL 3	DL 3	DL 3			9
計	124	2	9	11	5	3	9	2	57	71	12	9	6	5	5	37
改																
千葉機関区	54	1	4	5	2	2	3	1	36	42	委託			2	3	5
新小岩派出	53								23	31	委託	EL DL 3	FC 6	FC 3	6	18
計	107	1	6	7	4	4	9	1	59	73	3	6	5	9	23	
増減		-1	-3	-4	-1	+1		-1	+2	+2	-12	-6		+4	-14	-17